真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度

事務事業評価マネージメントシート

作成日　令和8年3月13日

事務事業名	獣害防止対策促進事業		担当課・係	産業部　農政課　農政係
政策名　No	5	「環境づくり」～安全なまちアップ！～	関連する SDGs･DX	
施策名　No	2	自然環境の保全と地球温暖化対策の推進		

成果指標	名　称	初年度からの実績値の比較						目標値
		単　位	R7	R8	R9	R10	R11	R11
	市内の自然環境の保全活動に参加している市民の割合	%	29.8					

事業内容

とちぎの元気な森づくり県民税を財源として、野生獣害が発生する恐れがある田畑と隣接する里山林を整備・管理することで、野生獣が人里に近づかない環境の維持と被害の軽減を図る。

前年度の課題（Check）

事業対象地区に係る下草刈従事者が高齢化しているため、作業を継続できる体制づくりを検討する必要がある。また、獣害対策の更なる推進のため事業未実施地区に事業対象を広げていくことについて検討する必要がある。

7年度振り返り

【1】実績（Do） 7年度に実施した事業

南高岡、須釜地区において、野生獣が人里に近づかない環境を作るために、里山林の下草刈を実施した（15.5ha）。

【2】結果と課題（Check）

イノシシの捕獲頭数や被害面積が増加傾向にあり、事業未実施の地区においても、事業区域を広げていくことについて検討する必要がある。また、対象地区の下草刈従事者が高齢化しているため、引き続き下草刈作業が継続できる体制づくりを検討していく必要がある。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　■ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【3】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

(1) ただちに取り組むべきこと

イノシシの捕獲頭数や被害面積が増加傾向にあるため、事業未実施の地区においても事業区域を広げていくことについて検討する。

(2) 長期的な計画で検討すること

対象地区における下草刈従事者が高齢化しているため、引き続き里山林の下草刈作業が継続できる体制づくりを検討していく。